

中川村誌 下巻 目次

近代・現代編

第一章 沿革

はじめに―中川村の歩みを理解するために……………	3
第一節 明治維新から町村制施行前(明治二十年)まで……………	4
一 近代国家への模索と地方制度の変動……………	4
二 竜東地域の村の動向……………	7
三 竜西地域の村の動向……………	9
第二節 町村制施行(明治二十年)から明治末年まで……………	10
一 立憲体制と地方自治制度の確立……………	10
二 南向村の動向……………	10
三 片桐村の動向……………	10
第三節 大正期から昭和恐慌期まで……………	11
一 国政情勢の激動と自治権の拡大……………	11
二 南向村の動向……………	11
三 片桐村の動向……………	12
第四節 満州事変から太平洋戦争終結まで……………	13
一 戦時体制強化と翼賛政治……………	13
第五節 終戦から中川村成立まで……………	14
一 日本の民主化……………	14
二 日曾利の分村……………	14
三 中川村成立の経緯……………	14

第六節 新生「中川村」の発足……………	17
一 新しい村づくり……………	17
(一) 新村の基礎がため……………	(二) 三六災害とその影響
(二) 特記される三事業……………	
第七節 昭和四〇年代から平成時代にかけて……………	19
一 高度経済成長と生活環境の整備……………	19
二 自然につつまれ歩む村……………	20
三 昭和後期から平成時代……………	21
第八節 伊南四市町村の合併問題……………	22
第九節 中川村の人口……………	23

第二章 村政機構・財政

はじめに……………	25
第一節 村政の機構……………	25
一 制度の推移……………	25
二 議会……………	28
(一) 南向村の議会……………	(二) 片桐村の議会
(二) 中川村の議会……………	
三 役場……………	35
(一) 役場と町村長……………	(二) 南向村の役場
(二) 片桐村の役場……………	(四) 中川村の役場
(五) 条例及び規則……………	

四 行政委員会……………45
 (一) 選挙管理委員会 (二) 監査委員……………47

第二節 財政……………47

一 明治期の財政……………47
 二 昭和期(合併前)の財政……………50
 三 合併直前から合併後の財政……………51

第三節 消防、警察……………57

一 消防……………57
 (一) 南向村の消防 (二) 片桐村の消防
 (三) 中川村の消防……………57

二 警察……………65
 (一) 駐在所が置かれる前 (二) 南向村の駐在所
 (三) 片桐村の駐在所 (四) 中川村の駐在所
 (五) 交通安全……………65

第三章 産 業

第一節 農蚕業……………69

一 中川村の農業の動き……………69
 (一) 戦前 戦中までの動き (二) 戦後の動き……………72

二 農業諸機関……………72
 (一) 太平洋戦争期までの動向
 (二) 太平洋戦争後の動向……………92

三 農業生産……………92
 (一) 米・麦・雑穀類
 (二) 果樹 野菜園芸・特産作物……………92

第二節 林業

四 蚕糸業……………112
 (一) 養蚕 (二) 蚕種の製造 (三) 繭価・糸価
 (四) 製糸業 (五) 蚕糸業の衰退……………120

五 畜産業……………120
 (一) 畜産の流れ (二) 馬 (三) 和牛
 (四) 乳牛 (五) 豚 (六) めん羊
 (七) やぎ (八) うさぎ (九) 鶏
 (一〇) そのほかの家畜 (一一) 陣馬形牧場……………127

六 農業の新しい動き……………127
 (一) 三田島ファームサービスグループ
 (担い手実践班)の活動……………130

(二) 葉ネギ いちごの大規模な施設園芸
 (三) トマト生産工場……………130

一 概要……………130
 二 中川村の森林概況……………131
 三 保安林……………131
 四 各施策と事業……………135
 五 森林組合の変遷……………137
 六 林産物……………139
 (一) 茸類 (二) 木炭……………140

七 山仕事……………140
 八 育苗事業……………140
 九 官行造林……………140
 一〇 林道……………141
 一一 森林被害……………142

第三節 水産業……………143

一 概要……………144

二 各地域の水産業のあらまし……………144

三 天竜川の遊漁……………145

四 漁法……………146

五 禁止漁法など……………148

六 鵜と外来魚の被害……………148

第四節 農政問題とその政策……………149

一 土地と農民……………149

(一) 土地売買の解禁と地券の発行……………149

(二) 小作争議……………149

(三) 桑原の小作争議の経過……………149

(四) 片桐の小作争議……………149

(五) 自作農創設と維持……………149

(六) 農地改革……………149

第五節 農林業災害とその対策……………172

一 洪水などによる南向 片桐の災害……………174

(一) 洪水……………174

(二) 砂防 築堤工事……………174

二 冷害 病虫害などの被害……………180

三 鳥獣被害……………183

第六節 商工・金融業……………185

一 商工業……………185

(一) 概観……………185

(二) 商工業の推移……………185

(三) 製造業……………185

(四) 地元生まれの製造業……………185

(五) 土木建設業……………185

(六) 中川村商工会の歩み……………195

(七) 民主商工会……………195

二 金融業……………195

(一) 概観……………195

(二) 農協の信用事業……………195

(三) 郵便局……………195

(四) 信用金庫……………195

(五) 地方銀行……………195

第七節 観光事業……………199

一 概要……………199

二 観光拠点……………199

(一) 陣馬形山キャンプ場……………199

(二) 小渋湖温泉……………199

(三) 小渋保養センター……………199

(四) 望岳荘……………199

(五) ふるさと自然園小渋峡……………199

(六) 四徳森林体験館(いもい荘)……………199

(七) 四徳オートキャンプ場……………199

(八) 大草城址公園……………199

(九) ふれあい公園……………199

(一〇) 信州伊那谷キャンパースピレッジ……………199

三 関係団体、イベント等……………202

(一) 中川観光開発株式会社……………202

(二) 中川村観光協会……………202

(三) 各地区活性化委員会……………202

(四) 中川どんちゃん祭り……………202

第四章 電源開発

第一節 南向発電所……………205

一 南向発電所建設の経緯……………205

二 建設者福沢桃介の胸像と碑……………207

三 南向村と南向発電所……………209

(一) 南向村の財政や生活への影響……………209

	二 建設当時の村の様子	212
	三 南向発電所の創設に関する資料	213
第二節	小浜ダムと小浜発電所	213
一	概観	213
二	ダムの規模と発電量	214
	(一) ダム (二) 貯水池(小浜湖)	
	(三) 管理設備 (四) 発電所	
第三節	四徳発電所	215
一	概観	215
二	機能の概要	215
第五章 交通・運輸・通信		
第一節	道路	217
一	道路整備の歩み	217
	(一) 明治前期 (二) 明治後期 (三) 大正期	
	(四) 昭和戦前期 (五) 昭和戦後期から現在	
二	村内主要道路の沿革と現状	224
	(一) 村道一級路線 (二) 一般国道一五三号	
	(三) 主要地方道伊那・生田 飯田線(通称竜東線)	
	(四) 主要地方道松川インター・大鹿線	
	(五) 一般県道北林・飯島線	
	(六) 一般県道大草・坂戸線	
	(七) 一般県道西・伊那線 (八) 農免道路	
第二節	渡船・通船と橋	230
一	渡船 通船等	230
	二 橋	234
	(一) 仮橋と初期の吊橋 (二) 天竜川の橋	
	(三) 国道一五三号の橋	
	(四) 新しく竜東線にできた橋 (五) その他の橋	
第三節	交通機関・運輸	241
一	荷車 馬車等諸車	241
二	自動車	243
三	運輸	249
第四節	通信	251
一	郵便	251
二	電信 電話	254
三	有線放送	257
四	ラジオ テレビ パソコン等	258
第六章 厚生福祉		
第一節	社会福祉	261
一	社会福祉組織の推移	261
	(一) 方面委員 (二) 民生児童委員	
	(三) 社会福祉協議会	
二	公的扶助	264
	(一) 公的扶助の始まり (二) 福祉施策の充実	
三	老人福祉	265
	(一) 老人保健福祉計画 (二) 介護保険事業	
	(三) 高齢者介護施設 (四) 国民年金	
四	児童福祉	271

第二節 保健衛生……………(一) 季節保育所 (二) 保育園

一 保健医療……………275

(一) 医療機関 (二) 国民健康保険……………275

(三) 保健センター……………275

二 環境衛生……………280

(一) 村営水道 (二) し尿処理 (三) 下水道……………280

(四) ごみ 不燃物処理……………280

第七章 兵事・海外移民(満蒙開拓団)

第一節 兵事制度と村民……………291

一 徴兵令と徴兵免除……………291

二 徴兵検査……………292

三 入営 召集……………293

第二節 従軍と慰霊……………294

一 戦役従軍……………294

(一) 戊辰戦争 (二) 西南戦争 (三) 日清戦争……………294

(四) 日露戦争 (五) 第一次世界大戦(日独戦争)……………294

(六) シベリア出兵 (七) 済南事件……………294

(八) 満州事変と上海事変 (九) 日中戦争……………294

(一〇) 太平洋戦争……………294

二 戦没者の慰霊……………301

(一) 村葬 (二) 戦没慰霊碑・忠魂祠……………301

三 関係団体……………302

(一) 在郷軍人会 (二) 遺族会……………302

第三節 海外移民(満蒙開拓団)……………305

一 満蒙開拓団送出……………305

(一) 満州移民送出 (二) 南向村の取り組み……………305

(三) 片桐村の取り組み……………305

二 満蒙開拓青少年義勇軍……………307

三 満蒙開拓の終末……………308

四 中国残留孤児……………310

第八章 社会運動

はじめに……………311

第一節 自然保護と環境問題……………311

一 環境問題への取り組みと対策……………311

二 一般廃棄物と産業廃棄物の問題……………313

三 ゴミ問題に対する自治体と住民意識……………314

四 地球温暖化と有害化学物質……………316

第二節 村内の環境を守る運動……………318

一 桑原産業廃棄物処分場問題への取り組み……………318

二 悪臭等公害問題への取り組み……………319

三 超軽量飛行機発着場問題……………320

四 社会環境改良運動への取り組み……………320

第三節 村内の平和・政治 労働運動……………323

一 平和運動……………323

二 政治活動……………324

三 労働運動……………325

第九章 教育

第一節 学校教育

- (一) 労働運動の推移
- (二) 職場別労働運動
- 一 学校創設の時代……………331
- (一) 学校の設立
- (二) 学校運営の資金
- (三) 学校の運営と管理
- 二 明治中期 後期の学校教育……………337
- (一) 尋常小学校から尋常高等小学校へ
- (二) 校舎の建築
- (三) 教育勅語と御真影
- (四) 学校行事の始まり
- 三 大正時代の学校教育……………342
- (一) 大正デモクラシーと学校
- (二) 新校舎の完成
- 四 戦前・戦中の学校教育……………345
- (一) 大不況と戦時教育
- (二) 青年学校の設置
- (三) 国民学校の時代
- 五 戦後の学校教育(昭和二十二年以降)……………352
- (一) 新学制の発足と新しい教育
- (二) 新制中学校の発足
- (三) 高等学校分校の誘致
- (四) 合併と校名改称
- (五) 三六災害と学校
- (六) 分校の統廃合
- (七) 統合中学校の建設
- (八) 小学校の新校舎建設
- (九) 学校給食
- (一〇) PTAの活動
- (一一) 中学校同窓会
- (一二) 新教育課程と完全学校週五日制

第二節 社会教育

- 一 地域の伝統的な社会教育団体……………373
- (一) 青年会
- (二) 女子青年団
- (三) 婦人会
- 二 社会教育施設の整備……………383
- (一) 公民館
- (二) 図書館
- (三) 歴史民俗資料館
- (四) アンフォルメル中川村美術館
- (五) NVサウンドホール
- (六) 天体観測施設「銀河ドーム」
- 三 公民館の生涯学習……………393
- (一) 公民館と社会教育
- (二) 婦人学級
- (三) 青年学級
- (四) 福寿学級
- (五) 現在の学級と教室
- (六) クラブ活動
- (七) 主催・共催の各種行事
- (八) 広報活動
- (九) 分館の活動と施設

第一〇章 文化

第一節 文芸

- 一 和歌 短歌……………405
- (一) 明治 大正初期の和歌
- (二) 大正 昭和初期の短歌
- (三) 昭和一〇年代、戦時下の短歌
- (四) 戦後の短歌
- (五) 平成期の短歌
- (六) 新年御歌会始入選者
- (七) 歌額
- (八) 歌碑
- (九) 個人歌集

二	俳諧 俳句	415
	(一) 幕末から明治初期の俳諧	
	(二) 明治期の俳諧	
	(三) 大正期の俳句	
	(四) 昭和期の俳句	
	(五) 平成期の俳句	
	(六) 句碑	
	(七) 俳額	
三	俚謡	427
四	歌謡	429
五	民話・童話	429
六	中川村のうた	431
第二節 学芸		
一	学術	436
	(一) 村出身の学術研究者	
	(二) 現在活躍中の人(三〇年以上の研究歴をもち、学位または著書のある人)	
二	美術工芸	441
	(一) 建築宮大工	
	(二) 彫刻	
	(三) 絵画	
	(四) 現在活躍中の人たち	
三	書道	444
四	音楽	444
五	戦後片桐に興った文化活動	445
六	昭和末期、平成期の文化活動	446
	(一) 中川郷土史研究会	
	(二) まなびの里を中心とする文化活動のグループ	
第三節 芸能		
一	芝居、演劇	449
	(一) 旅行者による芝居	
	(二) 地芝居	
二	中川バンド	453
第四節		
三	陣馬太鼓	452
四	平成期のまなびの里を中心にする芸能活動	454
スポーツ	455	
一	明治期のスポーツ	455
	(一) 弓術	
	(二) 相撲	
二	大正期から昭和初期のスポーツ	464
三	戦後のスポーツ	464
四	中川村主催のウォークイベント	470
五	平成期のスポーツ	470
第五節 報道活動		
一	有線放送	471
二	広報 ホームページ	473
第六節 村の文化財		
一	指定文化財	474
二	城跡	474
第七節 宗教		
一	神社	480
二	寺院	485
	(一) 寺院一覧	
	(二) 札所 霊場めぐり	
	(三) 寺の年中行事	
	(四) 晋山式(常泉寺 瑞応寺)	
三	そのほかの宗教	493
	(一) 天理教	
	(二) 創価学会	
	(三) 霊友会	
	(四) 立正佼成会	
	(五) PL教団	
	(六) キリスト教	
近代・現代編 写真提供および協力者一覧 参考文献		
		494

民俗編

第一章 山里の暮らしと人と物の交流

第一節 自然と暮らし……………499

一 川と地域性……………499

二 山と暮らし……………501

三 日々の風景……………503

四 自然と生きる……………504

五 水と暮らし……………506

第二節 記憶に残る空間……………509

一 子どものころの空間……………509

二 成長とともに……………512

第三節 農業と暮らし……………513

一 雪形と農作業（稲作を中心に）……………513

二 井と堤……………514

三 肥料とレンゲ……………515

四 田鯉……………516

五 家畜を飼う……………517

六 副業 夜なべ……………518

第四節 よそのムラとの行き来……………520

一 道と暮らし……………520

二 道とところ……………521

三 嫁ぐ……………522

四 生業と行き来……………525

第五節 船を利用した運搬……………528

第六節 道路の改良……………531

一 川狩り……………528

第二章 なりわい

第一節 山里のめぐみ……………533

一 山仕事……………533

二 狩猟と漁労……………538

三 山里の採取物……………540

第二節 米作り……………542

一 米作りへの執念……………542

二 田植え前の準備……………543

三 田植え……………547

四 水田の管理……………549

五 稲刈り、稲こき……………550

六 白ひき……………552

七 稲作儀礼……………553

八 米の貯蔵……………554

九 年貢米……………554

一〇 米作りの変遷……………555

第三節 五穀作り……………556

一 麦……………556

二 大豆……………559

三 小豆とヤセゴ・ササゲ……………560

四 粟と黍（こきび）……………561

五 蕎麦……………561

第六節	六 種……………	562
第四節	養蚕と製糸工場……………	563
一	蚕と桑……………	563
二	掃き立てから上簇まで……………	564
三	収繭と出荷……………	568
四	蚕室と飼育……………	569
五	製糸工場での生活……………	572
六	養蚕のお祭り……………	573
第五節	商う……………	576
一	ムラの店……………	576
二	売り出しと宣伝……………	577
三	よそからの売人……………	579
四	季節物の行商……………	579
第三章	住まう・食べる・着る……………	581
第一節	住まう……………	581
一	屋敷……………	581
二	家を建てる……………	584
三	間取りと暮らし……………	585
四	変わる住宅様式……………	596
五	建築儀礼……………	596
六	建て替え……………	598
第二節	食べる……………	600
一	主食……………	600
二	副食物……………	601

三	季節の食べ物……………	601
四	特別な日の食事……………	603
五	自家産の食品……………	605
六	おやつ……………	606
七	特色ある食べ物……………	607
八	調味料……………	608
九	食品の貯蔵と保存……………	609
一〇	食事作法……………	611
一一	飲み物……………	611
第三節	着る……………	613
一	紡ぐ・染める・織る・編む……………	613
二	仕立てる……………	616
三	着る……………	618
四	手入れと保存……………	627
第四章	つきあい……………	629
第一節	ムラとのかかわり……………	629
一	ムラのなりたち……………	629
二	ムラのしくみ……………	632
三	新たなる暮らしをもとめて……………	637
第二節	家族……………	640
一	家……………	640
二	家族……………	640
三	これからの家……………	644
第三節	同族……………	645

第四節 さまざまなきずな

一 子どもの集まり……………647

二 若者の集まり……………651

三 女性の集まり……………652

四 壮年団……………653

第五章 生活の折り折り

第一節 人の一生

一 産育……………655

二 婚姻……………659

三 葬儀……………664

四 長寿の祝い……………668

五 厄落とし……………669

第二節 暮らしの中の行事

一 正月……………670

二 春から夏へ……………673

三 七夕と盆……………674

四 秋から冬へ……………675

第六章 祈りとやすらぎ

第一節 ムラの神々と祭り

一 家で祭る神……………679

二 地域で祭る神と祭り……………680

三 講と祭り……………683

第二節 祭りと娯楽

四 神社の祭り……………685

一 祭りの余興……………692

二 祭りと花火……………693

三 祭りと交流……………694

第七章 ことばと伝承

第一節 口頭伝承

一 伝説……………695

二 昔話……………697

三 ことわざ……………701

第二節 方言

一 中川村の方言の事例……………703

二 独特な柔らかさ「デアリマス」「ナムシ」など……………704

三 方言域の違いと意識のずれ……………705

第三節 療法とまじない

一 薬草と物理的療法……………715

二 まじない……………718

アンケート調査協力者一覧

聞き取り調査、写真提供者一覧

執筆分担

編纂刊行委員会関係・編集会議関係

あとがき

……………721

……………722

……………724

……………725

……………726